

# ふれあい

高知高須病院 院内誌

2014  
vol.72

4月号

## 特集 患者満足度 調査結果



「分院」だより(P10)

KAIZEN発表大会

慰霊祭

聴診器から

たかす制服コレクション

みんなのふれあい広場

Hello! This is NST.

職場探訪

「分院」だより

人生いろいろすずなりリレー

「はるか」だより

入園おめでとう

ニューフェイス紹介

ご結婚・ご出産おめでとう



聴診器から(P6)

### 新着掲示板

- 平成26年3月、日本医療機能評価に認定更新されました。
- 平成26年4月、ふれあい高須まつりを開催しました。

詳しくは次号に掲載します!

 **高知高須病院**  
医療法人 尚腎会



## ニューフェイス 紹介

2014.1.1  
2014.4.1

- ① 星座・干支・血液型
- ② 趣味
- ③ 病院の印象
- ④ 自己PR
- ※ 部署別に掲載

**医師 山本**  
やまもと ひろゆき  
洋之

- ① 蟹座・戌年・A型
- ② ゴルフ
- ③ 広くて清潔感のある病院。
- ④ 2年ぶりに戻ってきました。少しは成長して帰って来れたと思っています。何かあれば連絡下さい。

**医師 水口**  
みずぐち たかし  
隆

- ① 山羊座・亥年・O型
- ② ロックコンサート観賞
- ③ 病院は余裕を持ってスペースがとられており、圧迫感がなく、ゆったりとした印象です。職員の皆様も明るい感じで良いと思います。
- ④ 専門は血液内科ですが、透析一般、消化器(上部内視鏡もします)も診療します。高知に住むのは初めてです。これで四国四県を制覇することになりました。

**病棟看護助手 小松**  
こまつ ようこ  
容子

- ① 乙女座・未年・B型
- ②
- ③ ホテルのように広くてキレイな所だと思いました。
- ④ はじめての職種で慣れないですが一生懸命頑張ります。

**外来看護師 横山**  
よこやま けいこ  
圭子

- ① 天秤座・子年・AB型
- ② 食べ歩き
- ③ とても清潔感のある働きやすい病院だと思います。
- ④ 外来勤務は初めてなのでご迷惑をかけてばかりですが、スタッフの皆様丁寧な指導して頂き感謝しています。一日でも早く一人立ち出来るよう頑張ります。

**透析室看護師 岩本**  
いわもと ゆか  
由佳

- ① 獅子座・午年・O型
- ② テレビを観ること、子どもと遊ぶこと
- ③ とてもキレイで明るい病院だと思います。透析室を初めて見た時はとても広いフロアに驚きました。
- ④ 透析看護は経験がないため分からないことだらけですが、これからたくさん勉強して頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

**透析室看護師 谷**  
たに あい  
愛

- ① 射手座・寅年・A型
- ② ガーデニング
- ③ とてもキレイで清潔感のある病院だと思います。
- ④ 10年ぶりの透析看護で分からない事も多く、皆さんに丁寧に指導していただいています。初心に戻り頑張ります。

**ご結婚おめでとう**

手術室看護師  
**井上 有花 さん**  
(旧姓:市村)

1月8日  
入籍

**車両運転手 手塚**  
てづか まさる  
勝

- ① 射手座・申年・B型
- ② ソフトボール
- ③ 清潔で広々とした環境の良い病院だと思います。
- ④ 皆様に安心して御利用頂ける様に頑張ります。

**栄養士 西村**  
にしむら わか  
和香

- ① 牡羊座・申年・A型
- ② ドラマ・DVDを見ること
- ③ きれいで温かく、とても明るく感じました。
- ④ まだまだ分からないことばかりですが、皆さんに信頼していただける管理栄養士になれるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

**外来クラーク 西村**  
にしむら ゆかり  
ゆかり

- ① 天秤座・丑年・B型
- ② 読書
- ③ 広く、明るく、清潔。
- ④ クラーク業務は初めてですが、早く仕事を覚えてがんばりたいです。

## ご出産おめでとう

**田村 誠(はるか介護福祉士)**  
田村 まどか(病棟看護師)  
平成26年1月21日生まれ  
**奏 空(そら)ちゃん**

尾崎 真由美(はるか介護福祉士)  
平成25年5月24日生まれ  
**楓 夏(あかり)ちゃん**

黒石 由実佳(透析室看護師)  
平成24年11月26日生まれ  
**2日(ふた)ちゃん**

大中 直美(病棟看護師)  
平成25年6月10日生まれ  
**乃音(のね)ちゃん**

[尚腎会 平成26年2月の診療実績]

- 外来患者数 / 3,288人 ● 紹介患者率 / 15.3%
- 新入院患者数 / 74人 ● 新退院患者数 / 72人 ● 平均在院日数 / 11.8日 ● 病床利用率 / 81.7%

■ 院内誌「ふれあい」 vol.72・4月号 発行日 / 平成26年4月25日  
■ 発行所 / 高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 http://www.takasuhp.or.jp  
■ 発行人 / 寺尾尚眞 ■ 編集 / 広報委員会 ■ 印刷所 / (有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8

 **高知高須病院**  
医療法人 尚腎会



# 特集 透析室 患者満足度調査結果



当法人では、理念である「患者さんの良き理解者、援助者となり、より良い医療を提供します」の実現のため、看護部による「患者満足度調査」を毎年実施しています。今回は透析室での調査について、設問の一部ではありますがご報告いたします。

### 調査概要

期間／平成25年7月16日～7月23日  
対象／上記期間に来院された外来通院透析患者さん  
人数／419名(回収数268名、回収率64.0%)

調査内容は、透析室での病院職員の接遇・対応10項目、透析室の設備について4項目、この病院の診療についての2項目や「改善すべき点」「良い点」のほか、性別、年齢、透析歴、透析曜日も付記して頂きました。

また、当院の透析室は1から3までありますが、以下の報告は、透析室すべての合計件数による満足度を算出しております。

【この病院の診療に満足していますか】では、『満足、大変満足』との回答が76%でした。

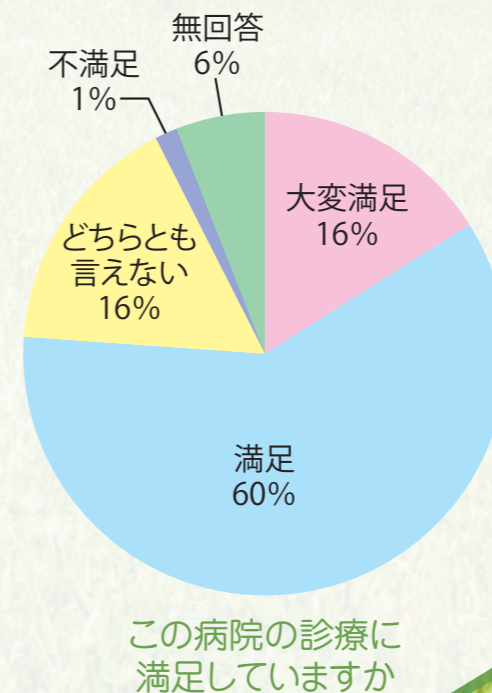
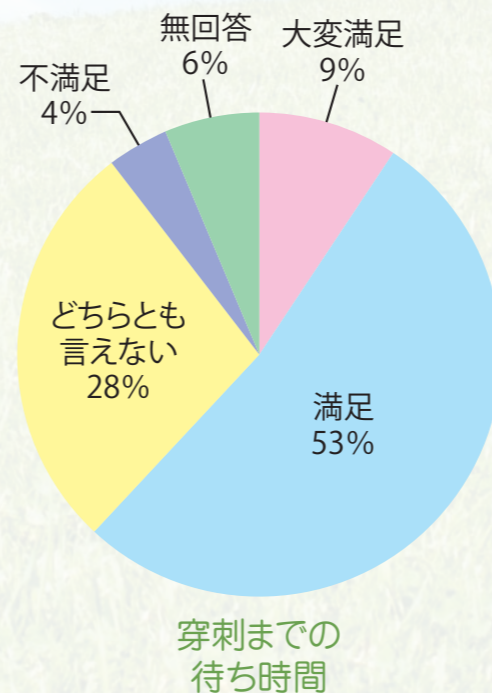
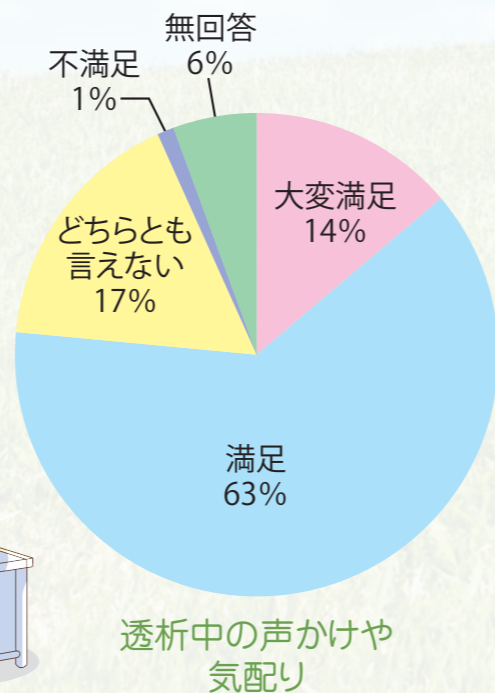
【穿刺時間の待ち時間】については、62%の人が『大変満足・満足』と回答されました。平成25年4月より送迎バスの時間を3クールにし、シフト化をおこなった結果、待ち時間が短縮されたのではないかと思われ、「穿刺までの時間が短くなったように感じます。」との言葉もありました。しかし、「帰りのバスの発車までの待ち時間が2時間もある。なんとかしてほしい」とのご意見も頂きました。

【透析中の声かけや気配り】は77%の人が『大変満足・満足』と回答されました。「多くの職員さんが、そばを通る時に挨拶やひと声をかけてくれます。疲れやけだるさを乗り越えるひと声となり、感謝しています。」「少しでも体調不良を感じたら、本人が言わなくてもすぐ医師と連絡をとり、診察してくれるので大変嬉しく思います。」と、お褒めの言葉を頂きましたが、「医療職としてのプロ意識を見失わない、継続的な教育指導を願いたい」と、厳しいご意見も頂きました。

満足度調査の結果は部署内で報告し、改善すべき点として指摘されたことについては、部署として改善できるように取り組んでいます。今後、さらに患者さんに満足いただけるよう、技術向上と安全な透析看護の提供に努めていきたいと思えます。



今回も大勢の患者さんから貴重なご意見をお寄せいただきました。この調査結果から、日頃私たちが提供している医療サービスについて、患者さんがどのように評価し、どのようなことを望まれているのかを再確認することができました。問題点の改善に努め、より一層のサービスの向上を図っていききたいと思います。ご協力ありがとうございました。



※グラフの数値は小数点以下を四捨五入

## 第5回KAIZEN発表大会 病棟

### 目的

入院予定期間を目標に退院でき、退院後も安心して療養生活を継続できるよう、多職種で関わり準備をおこなう。

### 改善内容

スライド1参照

#### 入院時から退院を意識した関わり

### 取り組み

1

- 退院支援調査票の作成・活用（書面および電子カルテにて作成）。
- チームカンファレンスの充実（入院時やリハビリ内容変更時などに随時開催）。

#### 多職種参加のカンファレンス実施

### 取り組み

2

- 医師、PT、病棟師長、病棟薬剤師、MSWに加え、チーム看護師、介護福祉士も参加。

#### ADLの早期回復をめざした病棟リハビリの実施

### 取り組み

3

- PTより依頼のあったリハビリメニューを病棟看護師・介護福祉士で実施。
- 四肢の拘縮予防のためのROM訓練、トイレでの排泄など。

### 結果

スライド2、スライド3参照

### まとめ

退院に向けて多職種で関わることで、問題の明確化と情報の共有ができ、同じ方向で関わる事ができた。病棟リハビリの実施がADLの早期回復につながった。退院後の生活をイメージした病棟リハビリの実施が、退院後の生活に自信をつける事ができた。

### 今後の取り組み

スライド4参照



## 「チームで取り組む退院支援」 — 透析患者の2例 —

### 改善内容

スライド 1

1. 入院時から退院を意識した関わり
  - 1) 退院支援調査票の作成・活用
  - 2) チームカンファレンスの充実
2. 現状や課題、方向性を共有するための多職種参加のカンファレンス実施
3. ADLの早期回復をめざした病棟リハビリの実施

### 結果：症例1

スライド 2

- ① 70代 男性：大動脈瘤切除人工血管置換術後、リハビリ目的にて入院
- ② ゴール目標：歩行が自立する
- ③ 病棟リハビリ：ADLの段階に応じた内容（実施率100%）  
透析日にも透析前にリハビリを実施
- ④ 退院後、自宅での生活に不安を感じており、週末ごとに試験外泊を行い、退院への自信をつけていった。

### 結果：症例2

スライド 3

- ① 70代 女性：右大腿部頸部骨折術後、リハビリ目的にて入院
- ② ゴール目標：歩行が自立する
- ③ 病棟リハビリ：廊下でのシルバーカー歩行
- ④ 退院後、自宅での入浴に不安を感じており、介護福祉士が特室の一般浴槽を使って入浴の練習をし、自信をつけていった。

### 今後の取り組み

スライド 4

看護研究で明らかになったこと  
 ・入院時からの多職種でのカンファレンスの充実  
 ・医療者間での方向性を統一した関わり  
 ・退院後の生活をイメージした病棟リハの実施  
 ・退院先である施設へ透析に関する情報提供  
 ・退院後も継続した関わりをもつシステムの構築

#### 退院支援チームの発足

- ・毎週MSWとカンファレンスを実施し、退院支援の充実を図る
- ・透析患者に関わる施設職員への情報提供（パンフレットの作成・合同カンファレンスの開催など）

## 第5回 KAIZEN発表大会

最優秀賞

病棟

「チームで取り組む退院支援」

KAIZEN発表大会を2月8日に開催しました。今年で5回目を迎える大会です。8部署から9演題の発表があり、病棟の「チームで取り組む退院支援」が最優秀賞に選ばれました。病棟の最優秀賞受賞はこれで3回目となります。

また優秀賞、奨励賞は臨床工学部、本院医事課がそれぞれ受賞しました。おめでとうございます。

ほかの部署も病棟に負けないよう、今後もKAIZEN活動に取り組んでいきましょう。



理事長奨励賞  
本院医事課

優秀賞  
臨床工学部

最優秀賞  
病棟

最優秀賞 病棟師長 堀井美智  
 独居高齢者や高齢者世帯が増加し、家族内の介護力が低下している今日において、退院支援への早期介入が重要となつてきています。そこで、昨年病棟では退院支援の充実を図るために取り組み、KAIZEN発表大会において「チームで取り組む退院支援」と題して発表しました。  
 入院時から退院後の生活を意識して関わり、毎週1回開催するリハビリカンファレンスには、チーム看護師や介護福祉士も新たに加わりました。そして、個々の患者さんの状態にあった病棟リハビリ



最優秀賞の病棟スタッフ

### 第5回KAIZEN発表大会 発表者リスト

No.	演題名	部署
1	楽しく、おいしく、満足のいく食事の提供をめざして	はるか
2	チームで取り組む退院支援	病棟
3	検査室におけるコスト削減と業務効率化への取り組み	検査部
4	臨床工学技士が腹膜透析チームへ参画する試み	臨床工学部
5	支援システム連携における業務改善	安芸医事課
6	透析室スタッフのコスト意識	室戸透析室
7	人工呼吸器用回路および加温加湿器を変更することにより業務効率が改善した	臨床工学部
8	自立支援医療(更生医療)の速やかな請求を目指して	本院医事課
9	透析室のリーダー廃止までの取り組み	透析室3

最優秀賞

優秀賞

奨励賞

※発表内容は左ページをご参照ください。  
 ありがとうございます。  
 第2回、3回と最優秀賞を頂いており、今回の受賞はないだろうと思っていたので、名前を呼ばれた時は驚きましたが、病棟の取り組みを評価して頂いた事を本当に嬉しく思います。今後も、退院支援の更なる充実に取り組んでいきたいと思えます。



# たかす制服 コレクション Vol.6

病院内で見かける、さまざまな制服。実は職種ごとに違うってご存知ですか。意外と知られていない当院の制服を、皆さまに紹介していきたいと思ひます。

## リハビリテーション部

今回ご紹介するのは「リハビリテーション部」理学療法士と助手さんの制服。運動、温熱などによって、運動機能の維持・改善を図り、患者さんのQOL向上を目指す、リハビリスタッフ。ストレッチ素材の動きやすい制服になっています。

## 慰霊祭

病棟看護師 村越 香織



### ご遺族14人と 故人偲ぶ

当院では毎年、亡くなられた患者様のために慰霊祭を行っています。今年も2月22日(土)に心月記にて執り行いました。今年も1年で当院に関わる患者様が、67人亡くなられ、ご遺族の方14人が参列しました。

寺尾尚民理事長、湯浅健司院長をはじめ職員31人が参列し、要法寺の住職による法要が行われ、その後ご遺族と主治医、職員たちとの茶話会が開かれました。今年も、昨年よりご遺族から参列される方が少なく、寂しい茶話会となりましたが、ご遺族の方と故人を偲ぶことができました。毎年お帰りの際には献花を花束



にしてお渡ししています。故人を思いながら花束を選ばれ、「ありがとうございました」と笑顔で帰られるご遺族の姿が印象的でした。今年も、献花と同時にアンケート用紙をお渡ししました。開催日時や茶話会、職員の接遇などについて「大変良い、良い」と評価を頂きました。その他「意見も頂き、今後の参考とし、質の向上を図りたいと思います。」

# みんなの ふれあい 広場

今回は、お子さん2人の作品を紹介します。1つ目は墨線美術協会の毛筆の部で優秀作品(力作)に選ばれた、前田妃美季さん(外来看護師:前田千佐さん長女)の作品(写真左)。毛筆3段の腕前です。もう一つは吉本涼風さん(外来看護師:吉本奈美さん長女)の作品(写真右)。高知市民憲章の心を伝える第23回「こんなまちにすみたい」図画コンクールで特選を受賞しました。大好きなかにがたくさん食べられる「かにの町」です。



前田 妃美季さん



吉本 涼風さん

「みんなのふれあい広場」では作品を募集中です。掲載希望の作品がありましたら、ぜひ広報委員にご連絡ください。

## その4 聴診器から



医師 松下 和弘(釣り倶楽部)

### 一瞬でも隙あれば イシダイに分があり

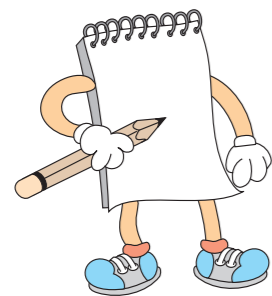
小生がやっているイシダイ釣りを少し紹介します。イシダイは荒磯の王者として海底に潜む強者ですが、小生がまだ血気盛んな十数年前にその豪快な釣りに魅せられて始めました。仕掛けはいたってシンプルで、釣り糸にエサと重りをつけそのまま海底まで沈めるだけですが、強烈なあたりに対抗するため、20号前後の太い道糸に先端部分はワイヤーを使用、さらに、イシダイ竿を頑丈なロープで磯に繋ぎ、持っていられないようにしておきます。さて、仕掛けをポイントに入れ、竿を眺めながらイシダイをお待ちするのですが、イシダイがやってくるとそれまでの静寂が嘘のように状況が変わってきます。竿先がにわかに揺れ始め、そしてゆっくり抑え込まれ、次の瞬間に竿先が海面に向かって見事に突き刺さり、強靱なイシダイ竿が折れればかりに絞りこまれた光景は圧巻そのもので、手を出すのが怖いぐらいの時がありま

す。間髪入れずに、竿を起し渾身の力をこめてリールを巻き上げますが、引きは強烈で、抑え込まれた竿を起こせないこともあります。イシダイ釣りはまさに静から動へと状況が急変するため迅速な対応が必要で、とにかく釣り人に一瞬でも隙があればイシダイに分があるように思います。写真は数年前に釣り上げた自己記録63cm、4.2kgです。その後、70cmオーバーを目指していますが未だお目にかかれません。



医事課

職場探訪 11



目配り・気配り・心配りを大切に

医事課は現在12名の職員で「目配り・気配り・心配り」を大切に、日々業務に取り組んでいます。それでは医事課の主な業務を簡単に紹介させていただきます。

受付業務：医事課 田中 裕子

患者さんにとって最初に訪れる場所が1階受付です。主な業務は、患者さんの診療受付、来院・お見舞いのご案内、電話対応、窓口会計業務があります。

多くの患者さんが痛みや不安を抱えて来院されます。私たちが笑顔で明るく対応することで少しでも患者さんの不安を取り除ければと、日々奮闘しています。電話対応は顔が見えないため、声だけで第一印象が決まります。

そのため「明るく元気に親切丁寧な対応」を心掛けています。

さまざまな患者さんを対応する中、時にはお叱りをいただくこともあります。「この病院に来て本当に良かった」「皆、親切にしてくれて嬉しかった」とお褒めの言葉をいただくことは、とても嬉しく、この仕事にやりがいを感じています。

透析室業務：医事課 今村 りこ

エレベーターで2階または5階へ…。扉が開くと、そこは透析室受付です。

透析室業務は、透析診療内容を電子カルテや透析箋から医事コンピューターへ取り込み・確認・入力、患者さんや業者の方の問い合わせや面会の対応をしています。

「おはようございます」、「こんばんは」と透析患者さんを笑顔で迎え、透析終了後は「お疲れ様でした、お気を

つけて」とお声掛けをしています。

患者さんから「ありがとう」、「お先にね」、「はよう、帰りよ」などのお言葉や色々なお気遣いに感謝しています。週3回、雨の日も風の日も、寒い日も暑い日も通院されている患者さんの心労を思うと、私たちのお声掛けが少しでも患者さんの癒しになればと「いつも笑顔で穏やかに」を心掛け日々頑張っています。

会計・レセプト業務：医事課 井口 理恵子

会計業務は患者さんが診察終了後、電子カルテから診療内容を医事コンピューターへ取り込み・確認・入力し、請求書を作成、患者さんから医療費の自己負担分を頂いています。

レセプト(診療報酬明細書)業務とは、患者さんが窓口で医療費の自己負担分を支払った残りの医療費を保険者へ請求する業務です。保険証の番号や請求内容の

確認、診療行為と病名が一致しているかをチェックし、診療月の翌月10日までに提出しています。

診療した内容が滞りなく請求できるために患者さんの保険証提示・確認の徹底、診療内容のチェックをすることが重要な業務であり、会計・レセプト業務は「正確さと迅速さ」を心掛け日々取り組んでいます。



子育てと食事の関わり

管理栄養士 西川 薫



子供たちの中でも当時小学2年生だった末娘も暗い顔で、とにかく甘えん坊で男の子みたいで大変だったそうです。怖い目をして、人を信じていない様相だったと先生も語っていました。

お母さんはどうしていいのかわからず、先生に相談します。「どうしたら母親になれるでしょうか?」、そう戸惑うお母さんに先生は答えます。「おいしいごはんを作ることが百回勉強しろというよりも大切です」。

お母さんは、「それなら私にも出来る!」と一生懸命ご飯を作ります。学校から帰ってきたら晩御飯のにおいがする、今まで帰って

きても暗かった家に電気がついていなくて。それから母と娘は、毎日今日のご飯は何か当てっこをするようになったそうです。女の子はみるみる優しい顔になり、笑顔を見せるようになりました。

食事だけが子供を育てるわけではありませんが、食事なしには子供は育ちません。生死は食に支配されています。体だけでなく心も。子供が健康に元気に育つキーポイントである食を握っているのが親です。栄養指導をしていると、子供の頃からの食生活の大切さが身につまされます。レンジでチンするだけであたためて食べられる便利な世の中ですが、便利さや簡単さに振り回されないようにしたいですね。



「勉強しろ」というよりも大切なこと

先日、大阪市立の小学校で教鞭をとられていた土佐いく子先生の講演を聞きました。その講演のなかで、結婚と同時に4人の子供の母親になった方の話をご紹介します。



介護付有料老人ホーム はるか 三宅 紀和

今年1月から「はるか」で始まった新しい催し「カフェはるか」。入居者さんに喫茶店の雰囲気を楽しんでもらおうと、毎月第3月曜日の午後オープンしています。

メニューは、コーヒーや紅茶をはじめ、抹茶やソフトドリンクそしてスイーツなどを用意し、お手頃価格で販売しています。

スイーツはその日によって洋菓子や和菓子と変えていく予定ですが、今のところいろいろな種類をとりそろえたショートケーキが好評。ほとんどの方がケーキセットを注文され、お茶を飲みながらおいしいケーキに顔をほころばせています。

そして3月の「カフェはるか」では、あらたにアロママッサージのコーナーも開設。スタッフが、希望の方にアロマクリームを使ったハンドマッサージを行います。

今回は5人の方にマッサージを行いました。皆さん気持ちよさそうに目をほそめ「こんなことでもらうたことない」と喜んでいました。今後もこのコーナーは続けていく予定で、多くの方に体験していただきたいと思っています。

こうして始まった、心と体の癒しの時間。普段のなげない午後の時間をちょっと特別なひと時に変えてみて下さい。



横山 翔太郎 くん (新木保育園)



岡崎 理紗 ちゃん (大津保育園)



宮本 心夏 ちゃん (大津保育園)



黒石 乙巴 ちゃん (おれんじ保育園)



西川 葵 ちゃん (あぞみの保育園)

**ひまわり通信**  
 保育園・幼稚園入園おめでとう  
 未来に向かって、健やかに、のびやかに  
 羽ばたくことを願って、おめでとう



石原 奏空 ちゃん (大篠保育園)



大石 千誓 くん (大津東保育園)



田村 海人 くん (芸術学園幼稚園)



文野 心 ちゃん (大篠保育園)

第27回 人生いろいろすずなりりレー

岡崎 史裕 さんから → 臨床工学技士 濱崎 能久 さんへ



# 少林寺 親子で黒帯

## 拳法

少林寺拳法を子供と始めて3年が経ち、親子で初段を取りました。少林寺拳法は、戦後敗戦国の日本の復興と平和で豊かな国づくりを目指し、自信と勇気と行動力を身につけ、慈悲心と正義感を養う人づくりを目的とし、昭和22年、香川県多度津町で宗道臣先生により創始されました。

少林寺拳法を子供と始めて3年が経ち、親子で初段を取りました。お互いが協力して助け合っ

趣旨は、単なる相手を突いたり蹴ったりするのが主体ではなく、勝利至上主義でもないで

厳しい社会や修練に耐え、どんな困難にもひるまない、不撓不屈の精神を養います。夢は日本武道館で親子組演武に出場することです。

もう一言、日本と中国は脱み合つてはいけません。日中国交正常化、昔あった高知にパンダ誘致案を再び。

2月22・23日に「むろと2000本桜祭り」が高知県立室戸広域公園でありました。2004年から「むろと2000本桜の会」が桜の苗木オーナーを募り、植樹を開始しました。室戸クリニックの地元職員も数名、植樹していただきます。植樹した場所により成長が異なりますが、現在は34種類1,755本が植えられています。うさが苗木を食べる被害や、夏の猛暑の水やりなど大変だったと聞きました。植樹から10年が立ち、見事に花が咲いています。当日は三分咲きの河津桜など綺麗なピンク色の桜が咲いていました。



短冊の付いたピンクの提灯がずらりと飾られており、祭りムード満載でした。地元グループによるフラダンスやバンド演奏に手拍子したり、一緒に踊ったりして盛り上がりました。桜にちなんだ「桜餅」「桜うどん」などが販売され、寒い中、多くの人が温かいうどんを食べながら桜を楽しみました。夜は桜をライトアップしており、足元にはアロマキャンドルが並べてあつて、昼間とは違った、幻想的で綺麗な桜を見ることができず。ぜひ室戸へ桜を見に来て下さい。

だよりの分院 「むろと2000本桜祭り」 室戸クリニック看護師 黒岩 恵子

